

2022年度とちぎボランティアNPOセンター

管理運営業務 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

2023年3月31日

1 センター運営の基本方針

■ 事業の方向性

(1) **伸ばす** 次代のNPO担い手育成(エンパワメント)

- ・NPO活動の停滞を打破するため、きめ細かな相談や体系的な研修事業を通じてマネジメント人材を育成

(2) **つなぐ** 市町センターとの連携、多様な主体による協働推進

- ・市町センターは地域密着の支援、場所を活用した支援、地域内協働などに適性あり。
- ・本法人に蓄積されたノウハウや人的情報、支援情報などの提供、連携向上のための積極的訪問と支援
- ・県域ネットワークの強化による多様な主体の協働推進、NPO・市民活動団体の支援拡大

(3) **育む** 社会貢献活動・地域社会活動への参加促進

- ・社会貢献活動への参加減少の現状の中、関係機関との連携協働による、県民の参加促進

2 業務一覧

(1) 相談支援業務



(2) 施設運営・受付対応業務



(3) 情報収集・発信業務



(4) NPO担い手育成業務



(5) 市町市民活動 支援センター支援業務



(6) ネットワーク運営業務



3 事業内容

(1) 相談支援業務

(1)相談支援業務

組織区分	個人	ボランティア団体	公益法人(一社・一財／公社・公財)	NPO法人	企業	マスコミ	行政関係	教育機関	中間支援・ボラセン	中間支援(その他)	社協	その他	合計(相談種別)
相談件数	98	53	17	103	3	14	22	4	51	1	6	3	375
ボランティアしたい	32	2	2	1							1		38
ボランティア求む	5	2				2	1		2				12
ボランティアその他	5			2									7
法人設立一般	7	10					1	1	2				21
N P O 法人 報告書 関連	1		1	16			2						20
会計・税務			1	11					2				14
組織運営	7	15	7	35			1	2	18			1	86
休眠・解散・合併等				1									1
認定 N P O							1						1
N P O 法人 団体 その他				2			2		1		1		6
情報照会	25	5	2	11	1	11	7		13		3	1	79
資金調達	2	6		9					4			1	22
施設・サービス	4	9	4	6	1	1	7	1	5	1	1		40
広報		2		2	1				2				7
傾聴	2	2		4									8
ICT・DX	1			1									2
その他	7			2					2				11

(1)相談支援業務

目的	個人の社会貢献活動参加やNPO等の設立、運営等に係る課題について助言、コーディネートを行い、県内のNPO活動の活性化を図る。		
内容	相談件数:375件(前年度402件)3月31日現在 延べ相談時間:193時間 主な内容: 特徴的な相談としては、以下のとおり。 ア NPO・NPO法人からの相談 ・組織運営・活動についての相談が多く、(既存の会場の使用条件が変更があったのか)場所についてや、集まり方についての相談があった。 ・また、NPO法に基づく運営の仕方についての相談も、比較的多かった。 ・情報誌の記事を読んで登記の方法などの相談もあった。 イ 個人からの相談 ・ボランティアについては、コロナ禍での失業に基づく相談もあり、社会との関係性を断ち切らないためのボランティア活動の意義も確認できた。 ・生活困窮者が「ボランティアしてほしい」との相談を寄せるケースも増加傾向にあり、若年者支援機構等につながりだ。 ・インターネットで「ボランティア」と検索したところ、「ぽ・ぽ・ら」が一番上に来たので相談に至ったというケースが多々あり、ぽ・ぽ・らからの情報発信が、相談に結びついているようだ。	内容	②研修、アドバイザー派遣事業と連携したアウトリーチ型支援 新型コロナウイルス感染症の感染が収まらない中、一部、オンラインでの相談対応など、代替え手段で実施した。また、出来るだけアウトリーチ型の支援に努めた。 ア オンライン相談支援 会計事務に関する相談に対し、相談者に来所いただくことなく、オンラインZOOMにより、会計書類などを画面共有しながら、相談支援を行った。 ・相談者:とちぎ消費生活サポートネット、NPO法人キーデザイン イ 特定非営利活動法人ふれあいへのアウトリーチ支援 NPO等へのアドバイザー派遣の事前打合せを行った。 日 時:2022年9月21日(水)14:00～15:00 会 場:桜ふれあいの郷(法人事務所) 出席者 ・特定非営利活動法人ふれあい 職員 ・ぽぽら2名 内 容:法人後見事業に関する法人の検討状況、希望するアドバイザー、勉強会の進め方等

(1)相談支援業務

内容 ③専門家による相談・コーディネート ア 会計税務及び労務相談会in鹿沼 日 時:2022年6月21日(火)13:30 ~16:15 会 場:かぬま市民活動広場ふらっと2階 まちなか交流プラザ イベントホール 専門家:鈴木圭吾税理士 谷田部浩史社会保険労務士 相談団体:【会計税務】 一般社団法人ガールスカウト栃木県連盟 認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ NPO法人栃木おやこ劇場 【労務】 一般社団法人ガールスカウト栃木県連盟 認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ 相談内容:【会計税務】 ①物販の収益の処理方法 ②源泉所得税の処理 ③理事会出席理事への交通費 【労務】 ①雇用契約について ②有給休暇について 結 果 応募の出足はあまり良くなかったが、結果的に予定に近い相談を受けることが出来た。団体存続に向けて新たな取組を始めるNPO法人は、直接税理士に相談することで、「背中を押してもらった」と晴れ晴れとした表情で帰られた。 過去にも相談実績がある団体では、相談者自身が実務に精通していると感じられた。それでもなお様々な雇用形態の社員がおり、相談に事欠かない実態がある。	内容 イ 会計税務及び労務相談会in足利 日 時:2022年9月14日(水)13:30 ~16:15 会 場:足利市民活動センター 専門家:牧野安浩税理士 時田英和社会保険労務士 相談団体:【会計税務】 NPO法人ステップアップサポートきらり NPO法人快活・生活支援センター 【労務】 NPO法人とちぎ協働デザインリーグ 相談内容:【会計税務】 ①ダンススクール事業の収益性 ②市民農園事業の税務申告 【労務】 ①情報公開規程等の整備 ②退職金制度 ③社会保険料の回収 結 果 昨年度、コロナの感染拡大により、オンライン開催となったため、今年度、改めて足利市民活動センターにおいて相談会を実施することが出来た。同センターでは、参加団体の募集や会場の設営、参加団体・講師の応対など、共催団体として積極的に対応してくれた。日ごろなかなか事業を一緒に行うことが難しいが、各地で相談会を実施する意義は大きいと感じた。
--	---

(1)相談支援業務

内容

エ NPOと企業のための労務相談日①

日時:2022年11月17日(木)13:30 ~16:00

会場:ぽ・ぽ・ら

専門家:谷田部浩史社会保険労務士

相談団体:認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ

相談内容:①安全衛生管理体制

②退職届

③管理監督者の有給休暇の出勤率算定

④使用人兼務役員の雇用

⑤労働条件の変更

⑥勤務時間の短縮

⑦有給休暇の出勤率

⑧変型労働制

⑨助成金

オ NPOと企業のための労務相談日②

日時:2023年1月25日(水)13:30 ~16:15

会場:ぽ・ぽ・ら

専門家:谷田部浩史社会保険労務士

相談団体:①NPO法人足尾に緑を育てる会

②NPO法人子どもの育ちを応援する会、
とちぎコミュニティ基金

相談内容:①雇用期間

②5年勤続者の取扱

③雇用保険の加入

④給与規程の見直し

内容

結果

・今年度、新規に「労務相談日」を設けたところ、参加団体は少なかったが、多くの職員を有する団体では、日ごろから労務について様々な悩みを抱えており、細かな質問について、社会保険労務士から適切な助言を得られたことは有意義だった。

・特に、離職票など、ハローワーク手続をネット上から行えるという情報は、職員の交代が頻繁な団体にとっては効率的な事務処理に有効だった。

・また、②の団体については、休眠預金の助成事業についての電話相談をきっかけに、労務相談日への参加につないだものである。労務相談終了後、参考となる規程類のデータを送付したところ、「解決の糸口が見つかった」との謝意が示された。

・労務相談日については企業からの相談にも対応可能なため、次年度は企業への広報を工夫していきたい。



(1) 相談支援業務



会計税務及び労務相談会in鹿沼



会計税務及び労務相談会in足利

(1)相談支援業務

内容	④「相談強化月間」の実施 ④ー1「事業報告・総会準備相談強化月間Part1」 ・期間:2022年3～2022年5月 ・、NPO法人の総会時期に合わせ、事業報告書作成や総会後の事務手続きの疑問点などについて、集中的に相談に応じた。 ・相談件数:12件 <主な相談内容> ・NPO法人の総会資料の作り方について ・役員変更に係る手続きについて ・会費の計上方法について ④ー2.「インボイス強化月間」 ・期間:2022年10月 ・インボイスが自団体にどのような影響を受けるのか？またその対応が必要なのか？を相談できる場を提供し、2023年10月の制度開始時に現場の混乱を未然に防ぐことを目的に実施した。 ④ー3「事業報告・総会準備相談強化月間Part2」 ・期間:2023年3月(～5月予定) ・多くのNPOが決算期を迎える3月末から総会時期に合わせ、決算・事業報告及び総会に関わる事項の疑問点に対応するために実施した。 ・相談件数:2件	内容 ⑤相談集計分析、相談対応力の向上 ・相談集計分析(毎月) ・スタッフ間でのケース会議の実施 ・相談強化月間に合わせたスタッフ研修 ・内部管理システムを活用した相談事例の共有 ⑥協働の理解促進を図る講座等への講師派遣(出前講座) ・地域、学校等への講師派遣 再掲:出前講座「栃木県社会福祉協議会初任者研修」 ・詳細は市民活動大学校出前講座に掲載 成果・課題 ・オンライン化した相談にも対応しているため、遠方や事務所を離れづらい方からの相談も受けやすくなった。 ・「シングルファーザーを支援している団体について」の照会は、県内にそうした団体が少ないせいか情報が乏しかった。まだ知られていない分野や社会課題の啓発を行い、担い手育成に繋げていくことが必要と思われる。
----	--	---

(2) 施設運営・受付対応業務

(2)施設運営・受付対応業務

目的	来館者が、快適かつ安全安心に施設設備を利用できるように努め、社会貢献活動拠点機能の充実を図る。		
内容	①施設・機器・物品等の管理 ・各種利用受付、鍵の貸出し等 ・利用団体情報の登録変更・削除等 ・メールボックス・ロッカーの管理(事務所機能の提供) ・図書や各種資料、書類(定款・事業報告書含む)の整理 ②施設利用月次集計・分析 (3月31日現在) ・来館者数 13,990名 (前年同期 12,676名) ・研修室利用件数 437件 (前年同期 388件) ・作業室(印刷機)利用件数 71件 (前年同期 58件) ・センター利用登録団体 412団体 (前年同期 417件) ・メールボックス利用登録数 25件 (前年度 22件) ・ロッカー利用登録数 40件 (前年度 37件)	内容	③新型コロナウイルス感染拡大防止の対応 公益社団法人全国公民館連合会が作成したガイドラインに準じて作成した「新型コロナウイルス感染拡大予防施設管理運営方針」により、来館者等の感染拡大防止策を実施した。 ・来館者の検温実施 ・来館者名簿の収集管理 ・手指消毒薬の常備 ・閉館時の研修室等除菌作業の励行 ・感染拡大防止啓発の掲示 ・感染状況を見極めての臨機応変な対応 ■特記事項 ・蔓延防止措置に基づき、研修室利用者数は引き続き、定員の半分として通年貸し出した。 ・作業室(印刷機)利用件数が前年の1.4倍となり、コロナ禍からの回復傾向が顕著である。 ・屋上漏水修繕工事の実施(2～3月)

(2)施設運営・受付対応業務



専門学校生の施設見学

(3) 情報収集・発信業務

(3)情報収集・発信業務

目的	県内NPO等の活動や全国の先進事例、行政、企業等による支援情報等を収集し、ホームページやSNS、情報誌など、発信に適した媒体を活用し発信を行う。																		
内容	①情報収集 ・社会貢献活動、協働、企業のCSR活動、SDGs等に関する情報の収集 ②情報発信 ・ホームページ・SNSの充実(ブログ、フェイスブック等) ・フォロワー、「いいね」を増やす取組 ・ホームページ上で情報誌バックナンバーを公開 ■主な情報発信先 NPO法人、ぽぽら登録団体、市町センター 地域協働推進員、社会福祉協議会、経済団体 青年会議所、図書館、公民館、高校、大学、市町担当課、県庁各課、出先機関、他県の県域市民活動支援センター等 <table><thead><tr><th>項目</th><th>2022年度</th><th>2021年度</th><th>比較</th></tr></thead><tbody><tr><td>HP閲覧数</td><td>81,678</td><td>65,968</td><td>124%</td></tr><tr><td>ブログ閲覧数</td><td>67,001</td><td>82,887</td><td>81%</td></tr><tr><td>Facebook閲覧数</td><td>22,314</td><td>18,635</td><td>120%</td></tr></tbody></table>			項目	2022年度	2021年度	比較	HP閲覧数	81,678	65,968	124%	ブログ閲覧数	67,001	82,887	81%	Facebook閲覧数	22,314	18,635	120%
項目	2022年度	2021年度	比較																
HP閲覧数	81,678	65,968	124%																
ブログ閲覧数	67,001	82,887	81%																
Facebook閲覧数	22,314	18,635	120%																
内容	<Facebookで反応の良かった記事> ぽ・ぽ・らマガジン34号発行 緑化ボランティア養成講座 県民の日レポート 国体「タオル回収」 たかはら子ども未来基金助成 など ・メールマガジンの配信 月2回発行及び臨時号3回 計27回 <table><thead><tr><th></th><th>2022年度</th><th>2021年度</th><th>比較</th></tr></thead><tbody><tr><td>登録者数</td><td>833</td><td>810</td><td>103%</td></tr></tbody></table> ・リーフレットの配布 関係機関に配布した。				2022年度	2021年度	比較	登録者数	833	810	103%								
	2022年度	2021年度	比較																
登録者数	833	810	103%																

(3)情報収集・発信業務

・情報誌の編集発行(3000部)

ア【No.34夏号】2022年8月発行

○特集:つながることを諦めない

事例:①KCFかぬまサイクルフリース

概略:「好き」を原動力に活動する

事例:②山あげ俳句大会実行委員会

概略:「地域愛でつながり合う」

事例③:昭和小・子ども会育成会・PTA

概略:「伝統を受け継ぐ」

事例④:地域のキーマンに声をかける

概略:「地域コーディネーター」

事例⑤:「手紙」で温かい思いを伝える

概略:子育てサロン

○『協働ちよっという話』

取材先:とちぎ協働アドバイザー

一般社団法人えんがお

濱野 将行氏

概要:「受援力でつながる協働」

事例:大田原商工会議所、(一社)えんがお

「まちの中の居場所づくりのパートナーとしての協働」

○『キラッとちぎ人』

取材先:とちぎきょうだい会 仲田 海人氏

サブテーマ:「きょうだい同士のつながり」

取材先:とちぎネパールコミュニティ

株式会社 SMS ルイテル・マヘス氏

サブテーマ:「地域社会との懸け橋として」

○『ぽぼら広場』

サブテーマ①:「NPO法人の皆様へ」

サブテーマ②:「準備できていますか? インボイス」

○『裏表紙』

①:「輝くとちぎの人づくり推進基金」

②:「とちぎ国体・とちぎ大会いちご一会ボランティアプロジェクト〜」

③下野市市民活動センターがオープンしました

とちぎのボランティア・社会貢献活動や協働の取組みを応援する情報誌

ぽ・ぽ・ら
2022 Summer
Vol. 34
magazine

キラッとちぎ人

いちご一会ボランティアプロジェクト
手作りいちごクリーナーで国体等への来賓者をおもてなし



特集

つながることを諦めない



とちぎボランティアNPOセンター



とちぎきょうだい会



とちぎネパールコミュニティ

(3)情報収集・発信業務

内容

イ【No.35冬号】 2022年12月発行

○特集: ぽぽら対談 つながって前へ新しい一歩を
～今こそNPOや市民の出番です～
NPO法人トチギ環境未来基地理事長 塚本竜也氏
ぽ・ぽ・らセンター長 赤羽幸雄

○『協働ちょっといい話』
「アドバイザーから学んだ協働のコツ」
ぽ・ぽ・ら コーディネートリーダー 町田英俊

○『キラッとちぎ人』
取材先: ボランティア団体
「あしかが子育て応援ネット」
サブテーマ: 「～子育て中のあなたへ～あしかが
いっしょに子育てガイド」

○取材先: とちぎにJフォルクローレを広める会
鈴木 隆夫 氏
サブテーマ: フォルクローレで街を元気に

○『ぽぽら広場』
サブテーマ①「とちぎ協働推進大会2022」
②「輝く“とちぎ”づくり表彰」

○『裏表紙』
①「災害ボランティアセミナーin栃木参加者募集中」
②「労働者組合法が施行されました」



特集

つながって前へ
新しい一歩を



ぽぽら対談
塚本竜也氏(右)
赤羽幸雄(左)



とちぎにJフォルクローレを広
める会 鈴木隆夫氏

キラッとちぎ人



発行された「あしかがいっしょ
に子育てガイド」の数々

(3) 情報収集・発信業務

③「栃木県内NPO等の活動の情報化支援に係るアンケート」の実施

○調査内容

- ・目的：社会貢献活動への参加の裾野を拡大するためには、社会貢献活動団体の活動の情報発信・情報公開を進めていく必要があるが、これらの情報が、県民に十分に届いていない状況が見られる。そこで、栃木県内の社会貢献活動団体の情報化の現状を把握し、今後の支援につなげていく。

- ・対象団体：県内NPO法人・ぽぽら団体 822団体
- ・実施期間：2022年12月6日（火）～12月24日（土）
- ・設問数：10問（団体の活動状況、情報化の現状）

○実施結果

- ・有効回答数 155件
- ・回収率 18.9%
- ・ぽぽらに求められる支援

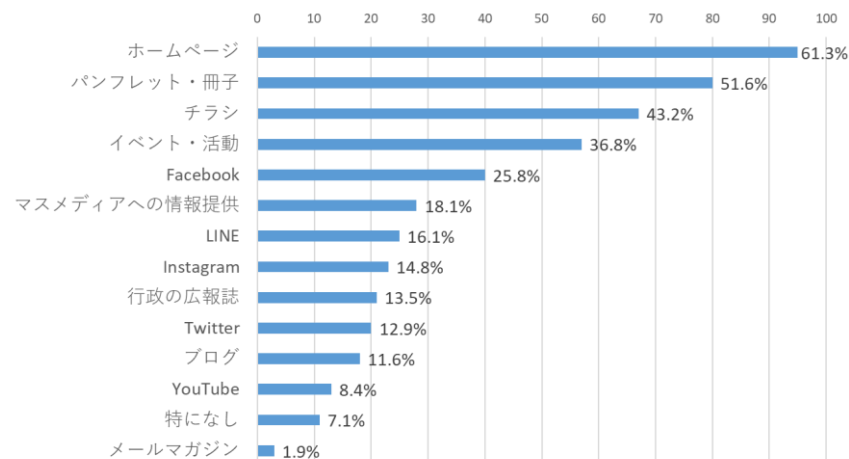
①団体運営への支援：コロナの影響で、2年間は活動・縮小したが、徐々に回復傾向と捉えられた。課題を抱える団体へのアウトリーチ相談支援やアドバイザー派遣、研修の紹介等により支援していく。

②事業の充実：多くの団体が新たな事業に取り組みたい意向をもっていた。相談・コーディネートや出前講座、研修等により、様々な取組を支援していく。

③情報化の推進：「DXについて知りたい」「アンケートフォームの使い方」「LINEグループの活用」「クラウドサービス」の活用など、多様なニーズが見られた。情報化支援を強化していく。

内容

質問例：活動（事業）について、どんな媒体を使い発信しているか？（複数回答）



成果・課題

成果

- ・情報化アンケートの実施により、NPO等の情報化の現状が概ね把握できたため、今後の情報化支援策に活かしていく。
- ・出前講座で、ぽ・ぽ・らの情報発信ツールについて紹介する際に、QRコードも紹介した。

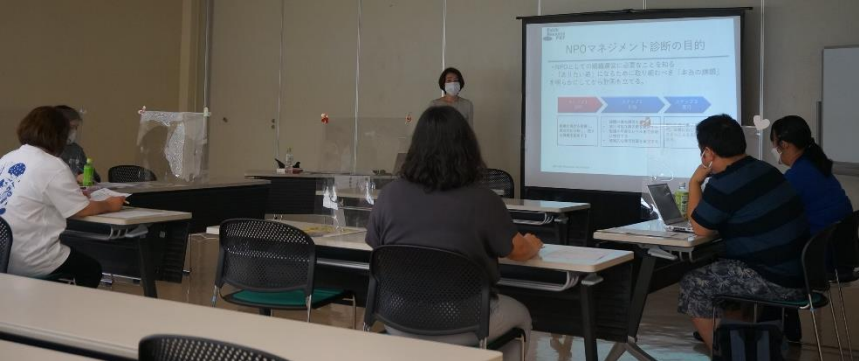
課題

- ・ターゲットと時代の変化に応じた情報発信ツールの検討
- ・新規顧客拡大へのアプローチ

(4) NPO担い手育成業務

(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

目的	NPOの中核的人材を育成するとともに、より多くの県民が社会貢献活動への関心を高めることを目的に実施した。 特にコロナ禍において多くの参加者を招集することが難しくオンラインを積極的に取り入れたほか、ゼミ形式で参加者とのコミュニケーションを重視し、開催した。	
NPOマネジメント診断	1 NPOマネジメント診断 ～ミッションを達成するために生き活きと働ける組織となろう～ 日 時: ①2022年7月5日(火)13:00～17:00 会 場: ぽ・ぽ・ら 講 師: 公益財団法人パブリックリソース財団 事務局 長 田口 由紀絵 氏 参加者: NPO法人7名 内 容: マネジメントとは? かできていないと、どのような課題が出てくるのか? などマネジメントの重要性を学んだ。また、パブリックリソース財団が開発した診断シートを用いて、各団体が自己診断を行い、現状分析を行った。 	2 ファンドレイジング～私たちの資金調達～ 日 時: 2022年9月29日(木)10:00～12:00 会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM) 講 師: 認定ファンドレイザー 池田 秀昭 氏 参加者: NPO法人、市民活動支援センター、NPO担当課等 22名 共 催: 宇都宮市まちづくりセンターまちびあ 協 力(サテライト会場) ・とちぎ市民活動推進センター「くらら」 ・小山市市民活動センター「おやまーる」 ・かぬま市民活動広場「ふらっと」 ・真岡市市民活動推進センター「コラボーレもおか」 ・さくら市市民活動センター 内 容: 資金調達はファン(FAN・FUN)ドレイジングと捉え、いかにファン(応援してもらう・楽しんでもらう)かを学んだ。 支援＝共感×納得＋信頼の方程式の元、共感とはどのようなことか? 納得するとは? 信頼とは? を紐解き、ドナージャーマップ(支援者の見える化)を用いて、今かかわりのある人、これから関わりたい人にどのように働きかけるのかについて学んだ。

ファンドレイジング

(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

ファンドレイジング



3 助成金合同説明会

上記ファンドレイジングセミナーに併せて、同日午後、宇都宮市まちづくりセンター主催「助成金合同説明会」に共催、実施した。

日 時: 2022年9月29日(木)13:30～16:45

会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM)

講 師: 各助成金実施団体担当者

参加者: 延べ40名

共 催: 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ

協 力(サテライト会場)

ファンドレイジング

- ・とちぎ市民活動推進センター「くらら」
 - ・小山市市民活動センター「おやまーる」
 - ・かぬま市民活動広場「ふらっと」
 - ・真岡市市民活動推進センター「コラボーレもおか」
 - ・さくら市市民活動センター
- 紹介された助成事業
- ・とちぎコープ生活協同組合
「とちぎコープNPO法人助成金」
 - ・社会福祉法人栃木県共同募金会
「赤い羽根応援プロジェクト」ほか
 - ・とちぎコミュニティ基金
「花王ハートポケット倶楽部助成」ほか

労務基礎講座

4 労務基礎講座

「NPOのための労務&働き方改革」

日 時: 2022年7月20日(水)13:30～

会 場: ぽ・ぽ・ら

講 師: 栃木働き方改革推進支援センター 専門家
社会保険労務士 谷田部 浩史氏

参加者: 0名

- ・7名から申込があり、前日に参加者あてに確認メールを送付した。当日、4名から欠席連絡があり、3名は無断欠席だった。
- ・労務基礎講座の実施は4年目となるが、受講者は減少してきており、一定のニーズを満たしたものと思われる。どのような形式が効果的か、次年度の事業企画を検討したい。

(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

5 ～マーケティング講座～

「企業から学ぶ私たちの売り込み方」

日 時:10月22日(土)13:30～16:30

会 場:ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM)

講 師:カルビー株式会社 生産本部 生産管理部
環境対策課 系数 みづき 氏

参加者:NPO法人、中間支援組織、市民活動団体等
10名

内 容:

1. マーケティングについて
2. 講師が関わった事例の紹介「商品制作」
3. 商品について知ろう
4. お客様を知ろう
5. お客様を決めよう
6. お客様に知ってもらおう

マ
ー
ケ
ー
テ
ィ
ン
グ
講
座

自己紹介♪

①氏名

②所属

③参加の目的



6 NPO会計基礎講座①

日 時:2022年6月23日(木)13:30～15:30

会 場:オンライン(ZOOM)

講 師:とちぎボランティアNPOセンター

コーディネーター 町田 英俊

参加者:NPO法人等14名

内 容:

- 1 NPO会計の基礎
- 2 日常業務で行うこと
- 3 事業費と管理費
- 4 人件費とその他経費
- 5 NPO法人が作成する会計書類等

N
P
O
会
計
基
礎
講
座



(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

7 企画・プレゼン力向上講座

日 時:2022年12月10日(土)13:30~16:30

会 場:ぽ・ぽ・ら

講 師:OOKIWORKS代表・とちぎ未来大使
交流企画プロデューサー 大木 浩士 氏

参加者:NPO法人、市民活動団体、行政、地域おこし協力隊、中間支援組織等26名

内 容:共感される・驚きのある企画づくり
三方良しの企画づくり
伝わるプレゼン方法など

企画・プレゼン力向上講座



8 インボイスを知ろうセミナー

～あわせて、電子帳簿保存法とは～

日 時:2022年7月22日(火)13:30~15:30

会 場:ぽ・ぽ・ら

講 師:安納宏和税理士事務所
NPO法人 とちぎ協働デザインリーグ 監事
安納 宏和 氏

参加者:12名

内 容:インボイス制度の概要
適格請求書発行事業者の要件及び検討のポイント
電子帳簿保存法の概要

インボイスを知ろうセミナー



(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

9 事業報告の作り方

日 時:2023年2月3日(金)13:30~16:30

会 場:オンライン(ZOOM)

講 師:栃木県県民文化課職員

とちぎボランティアNPOセンター

コーディネーター 町田 英俊

参加者:7名

内容:NPO法人の年度末のNPO法等に基づく手続きについて
事業報告書作成の流れ
情報公開について



事業報告の作り方

10 協働推進員養成講座「地域に溶け込みコラボする」事例で学ぶとちぎの協働

参加者:20名 ※受講者に修了証を発行した

内 容:県内において、多様な主体による協働の取り組みは、地域課題の解決に大きな成果を上げている。本講座では、地域課題解決のための「つなぐ」役割の重要性を再認識し、地域で協働を推進する人材づくりを目的に、4回シリーズで開催予定。第2回、第3回は協働の現場から中継した。

参加者:延べ69名

●第1回 事例学習inぽ・ぽ・ら
「人と関わり、きっかけを作ろう」

日 時:2022年11月3日(木・祝) 13:00~16:00

会 場:ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM)

コーディネーター:とちぎボランティアNPOセンター

コーディネーター 町田 英俊

参加者:19名

内 容:協働とは互いのことを知り繋がり合うこと。
第2回と第3回の事例について事前学習を行い、共有した。
「協働のコツ」を用いて協働の考え方を学んだ。

協働推進員養成講座

(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

協働推進員養成講座

- 第2回 現地学習in日光市三依地区
「人の懐に入りながら地域を作ろう」
日 時:2022年11月10日(木) 13:00~16:00
会 場:ロッジ 古代村
講 師:おじか・きぬ漁協三依支部 理事 地域協働推進員養成講座元受講生 日光市三依地区地域おこし協力隊 田邊 宜久氏
参加者:11名
内 容:地域に溶け込むためのコツ。地域の人々と協働するコツ。中山間地域の地域づくりについて。



協働推進員養成講座

- 第3回 現地学習in鹿沼市菊沢地区
「皆が心の糸でつながる地域を作ろう」
日 時:2022年11月24日(木)
13:00~16:00
会 場:菊沢コミュニティセンター
講 師:菊沢地区第二層協議体 会長 生きいきこっとな村 代表 栃木県民生委員・児童委員 紺野 勝寛氏
参加者:19名
内 容:地域資源活用のコツ。まちなかの地域づくりについて。
- 第4回 全体振り返り・まとめ
日 時:2022年12月8日(木)13:00~16:00
会 場:オンライン(ZOOM)
講 師:とちぎボランティアNPOセンター
コーディネートリーダー 町田 英俊
参加者:13名
内 容:第1回から第3回までの振り返り。「『協働のコツ』を自分たちなりにリニューアルしてみよう」ワークショップ及び共有。「学んだコツで何をしたいか」の共有。

(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

事例から学ぶつながり回復講座

11 「つながりについて考えるサロン～きっかけは身近なところから～」

内 容: ボランティア活動を通してつながりを維持している事例を取り上げ、インタビューや参加者との意見交換を通して、「つながりの回復」への手がかりを持ち帰る講座とした。

対 象: これからボランティア・市民活動を始める方、コロナ禍での活動を躊躇している方

●第1回「ボランティア活動のきっかけづくり」

日 時: 2022年12月23日(金) 13:30～15:30

会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM)

ゲスト: NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

理事 川田 浩也 氏

参加者: 7名

内 容: ファミレス・喫茶店でのおしゃべりから、多くのつながりやスピンアウトした事業を生み出している川田さんより、今までの活動がどのようなつながりをきっかけに生まれていったのかについてお話いただいた。また、「誘いやすい人を何回も誘う」、「活動の主導権を握る」、「信頼してもらうコツ」等についてもお聞きした。

事例から学ぶつながり回復講座

●第2回「思いを活動に変える」

日 時: 2023年1月17日(火) 13:30～15:30

会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン(ZOOM)

ゲスト: 栃木照る照る坊主の会 和知 知明 氏

参加者: 6名

内 容: 「栃木照る照る坊主の会」として、被災地の支援(炊き出しや植樹活動)、様々な職種の仲間とともに学校での職業人講和を行っている和知さんから、熱いパッションがどのように活動に変わっていったのか、また、活動の意義や信念はどのようなものなのかについてお聞きした。「今、自分にできる事は？」と常に問い続け、仲間を作り、関係機関に相談し、活動を行っていた経緯、趣味を生かした資金集めなどについてお話いただいた。



(4)NPO担い手育成業務

①「ぽぽら市民活動大学校」

事例から学ぶつながら回復講座

●第3回「ボランティア活動を始めよう」

日時:2023年1月26日(木)13:30~15:30

会場:ぽ・ぽ・ら

ゲスト:バルーンアーティスト「ウシ」/ 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあセンター長 小倉 克洋 氏

参加者:6名

内容:バルーンアーティストの「ウシ」として活動する小倉さんのモットーは、無理をしない活動。自分ができることで活動が続けていく…。その秘訣はどこにあるのかについてお聞きした。



<第1～第3回まとめ>

- ・ボランティアを始めたい層より、ボランティアをコーディネートする側の参加者が多かった。
- ・広報時にFB広告を活用したことにより、「FBでぽぽらのことを知り参加した」という人が数名おり、広告の効果があつた。。

<市民活動大学校>

- ・コロナ禍においても、オンライン等を活用し、概ね予定通り実施することが出来た。
- ・オンラインでの開催は、感染症対策の側面と、移動にかかる時間や、事務所を空けずに参加することが出来る等のメリットがある一方で、ICTに不慣れな団体には、依然としてハードルが高く感じられるようであった。
- ・ICT・DX化も一つの課題と捉え、代替え方法も含め、NPOの担い手が、参加の機会ロスとならないように支援することも必要である。

成果・課題

(4)NPO担い手育成業務

①ー2「ぽ・ぽ・ら出前講座」(市民活動大学校)

目的	より多くの県民が社会貢献活動への関心を高め参加する機会を設けるため、多様な講座テーマを設け、地域や団体等からの依頼に応じて、出前で講師を派遣する。																	
内容	次の開催条件に基づき、2022年4月から出前講座の応募を開始した。 <講座メニュー> <table><tr><th>No</th><th>講座名</th></tr><tr><td>1</td><td>NPO入門、NPO法人運営の基礎</td></tr><tr><td>2</td><td>会計の基礎</td></tr><tr><td>3</td><td>労務の基礎</td></tr><tr><td>4</td><td>協働のコツ</td></tr><tr><td>5</td><td>オンライン会議の開き方</td></tr><tr><td>6</td><td>ボランティア入門</td></tr><tr><td>7</td><td>地域づくり・つながり回復サポート</td></tr></table> ・定 員:概ね10名以上～20名未満(ボランティア団体やNPO法人、自治会等の団体などが対象) ・時 間:午前10時から午後8時30分まで。 1講座60～90分 ・回 数:全体で15講座まで。原則として1団体につき1講座まで	No	講座名	1	NPO入門、NPO法人運営の基礎	2	会計の基礎	3	労務の基礎	4	協働のコツ	5	オンライン会議の開き方	6	ボランティア入門	7	地域づくり・つながり回復サポート	・場 所:申込者が指定する会場(県内) ・費 用:講師の派遣費用や資料代は無料。 会場に係る費用は申込者負担。 ※講座実施後、申込者から感想シートを提出(任意)してもらい、今後の企画等に活かすものとする。 <実施状況> ① シルバー大学校(中央校①) 「市民活動とつながろう」 日 時:2022年 4月12日(土)10:00-12:00 参加者:29名 ② シルバー大学校(南校) 「市民活動とつながろう」 日 時:2022年 4月21日(日)10:00-12:00 参加者:27名 ③ シルバー大学校(中央校②) 「市民活動とつながろう」 日 時:2022年 5月 6日(火) 10:00 ～ 11:30 参加者:22名 ④ シルバー大学校(北校) 「市民活動とつながろう」 日 時:2022年 5月18日(水)10:00-12:00 参加者:21名
No	講座名																	
1	NPO入門、NPO法人運営の基礎																	
2	会計の基礎																	
3	労務の基礎																	
4	協働のコツ																	
5	オンライン会議の開き方																	
6	ボランティア入門																	
7	地域づくり・つながり回復サポート																	

(4)NPO担い手育成業務

①ー2「ぽ・ぽ・ら出前講座」(市民活動大学校)

内容 ⑤真岡市市民活動推進センター コラボレーレもおか ボランティア入門「いちご編みワークショップ」 日 時:2022年 6月 3日(金) 13:30-15:30 参加者:13名 ⑥宇都宮市景観みどり課 「ボランティア入門講座」 日 時:2022年 6月 9日(水)9:30~12:00 参加者:18名 ⑦栃木照る照る坊主の会(さくら市立氏家中学校) 「宇宙一の職業人講和 NPO/NGO ワクワクキャリア アップ講座」 日 時: 2022年 6月14日(火)13:00~16:00 参加者: 58名 ⑧宇都宮市東生涯学習センター ふれあい塾「それ ぞれの国際協力~任地の活動紹介と栃木での挑 戦~」 日 時: 2022年 6月21日(火) 9:30~12:00 参加者: 70名 ⑨小山市市民活動センター おやま~る ボランティア入門「いちご編みワークショップ」 日 時:2022年 7月24日(日)10:00~12:00 参加者:10名	内容 ⑩真岡市公民館真岡西分館 ボランティア入門「いちご編みワークショップ」 日 時:2022年 8月17日(水)10:00~12:00 参加者:19名 ⑪栃木県社会福祉協議会 「社会福祉協議会初任者職員研修会」 日 時: 2022年9月2日(金) 13:00~14:00 参加者: 28名 ⑫西那須野中学校 生徒活動後援会 「NPO/NGO ワクワクキャリアアップ講座」 日 時: 2022年10月6日(金) 13:00~15:00 参加者: 815名 ⑬シルバー大学校(北校)42期「市民活動とつながろう」 日 時:2022年12月20日(火) 10:00~15:00 参加者:15名 ⑭下野市市民活動センター「つながり回復・地域づくり」 日 時:2023年1月24日(火) 13:30~14:50 参加者:5名 ⑮宇宙一の職業人講和「NPO/NGO ワクワクキャリア アップ講座」 日 時:2023年1月26日(木)13:00~15:40 参加者:45名
--	---

(4)NPO担い手育成業務

内容	⑬下野市市民活動センター「協働のコツ」 日 時:2023年 2月 4日(土)13:30~14:50 参加者:24名 ⑭シルバー大学校(南校)「市民活動とつながろう」 日 時:2023年 2月17(金)10:00~15:00 参加者:24名 ⑮TIA外国人キーパーソン研修会「災害ボランティアってなんだろう？」 日 時:2023年 2月18日(土) 10:00~12:00 参加者:19名 ⑯2022年度NPO・ボランティア講座「NPO・ボランティアのパワーでまちづくり～地域を協働で元気に～」 『コロナ禍でのつながり回復をめざして』 日 時:2023年 2月18日(土)13:30~16:00 参加者:11名 ⑰シルバー大学校(中央校①)「市民活動とつながろう」 日 時:2023年3月15日(土)13:30~15:00 参加者:20名	成果・課題 ＜出前講座＞ ・昨年度に引き続き、「シルバー大学校」からの依頼が多かった。 ・国際協力やNGOに関するテーマに関する講座依頼の中には全校生徒向けのものもあり、国際協力や多文化共生に関する理解を促すことが出来た。 ・また、外国籍の活動担い手への講座を初めて行い、社会貢献活動への参加機会の拡大を図ることが出来た。
-----------	---	---

(4)NPO担い手育成業務

①ー2 ぽ・ぽ・ら出前講座2022

ボランティア入門講座(宇都宮市景観みどり課)



NGO/NPO ワクワクキャリアアップ講座(那須塩原市立西那須野中学校)



(4)NPO担い手育成業務

①ー3「NPO等へのアドバイザー派遣」(市民活動大学校)

目的	社会貢献活動団体等が、新たに実施する取組内容に際して、専門的知識や実践経験を有する者による助言等の支援を行い、当該団体等の活動を一層促進することにより、地域における課題解決のために自立して活動できる人材育成につなげる。	
内容	＜制度内容＞ 新たな取組を始める自治会・NPO等の社会貢献団体に対して、アドバイザーを派遣する。団体等が抱える課題等について、アドバイザーによる助言・提案等により解決をサポートする。 ①対象となる団体等：栃木県内のNPO、ボランティア団体、自治会等の団体（法人格の有無は問わない） ②対象となる取組：原則として、新規又は既存の取組を拡充して行われるもの ③派遣回数：原則として、1団体当たり3回まで（1回当たり2時間程度） ＜実施結果＞ (1) 特定非営利活動法人ふれあいへの派遣 ○テーマ：新たに立ち上げる法人後見事業への助言 ○目的等：障害を有する者やその家族の高齢化に伴い、親亡き後の障害者支援や本人が安心して生活する権利を擁護するため、法人として後見事業が行えるようにしたい。	○助言を受けたい内容 ・定款や規程の内容：(後見事業を行っている法人) ・身上監護について(社会福祉士) ・法人後見に関する法律的に必要な知識(弁護士) ①社会福祉士の派遣 ・日時：2022年11月8日(火)10:00～12:00 ・アドバイザー：社会福祉士 松本裕行氏 社会福祉士 松本佑司氏 ・参加者：障害者福祉施設「桜ふれあいの郷」を運営する職員、NPO法人職員 7名 ・内容：法人後見制度の概要・身上監護についての講義、質疑応答、助言 ②社会福祉士の派遣 ・日時：2023年2月20日(月)10:00～12:00 ・アドバイザー：社会福祉士 松本裕行氏 ・参加者：看護担当職員、NPO法人職員等 ・内容：法人後見制度の概要・身上監護についての講義、質疑応答、助言
		成果・課題 ・新たに法人後見事業を立ち上げることにについて、法人内では合意が取れており、担当職員が意欲的である。 ・アドバイザーからの助言を受けることによって、早期に実現を図りたい意向であり、支援の必要性が高い。 ・途中、施設内でのクラスター発生により業務が中断したため、弁護士の派遣は次年度に実施したい。

(4)NPO担い手育成業務

②ボランティア参加機会の推進

目的	とちぎ国体・とちぎ大会いちご会ボランティアプロジェクトの実施 2022年度に開催される「とちぎ国体・とちぎ大会」に向けて、本県特産のいちごをモチーフにした「手編みのいちごクリーナー」の寄附を県民から広く募り、大会開催時に来訪者に配布して、エコとおもてなしの心を持ち帰ってもらう。コロナ禍でもできる、「おうちで始めるボランティア」として、県民のボランティア参加のきっかけづくり、裾野拡大を図る。 いちごクリーナー 	③いちごクリーナー寄附報告会の実施 3年間の取組により、約6,000個の「いちごクリーナー」の寄附が寄せられたため、国体等実行委員会への報告会を行った。 日時:2022年6月23日(木)15:00~15:15 会場:栃木県庁北別館 出席者:国体・障害者スポーツ大会局 橋本局長、協力市町センター職員、寄附協力者、ぽ・ぽ・らセンター長ほか 12名
内容	①いちごクリーナーの寄附募集 ボランティア参加のきっかけづくりとして、広く県民から手編みのいちごクリーナーの寄附を募集する。 ・寄附実績 6,385個 ②いちご編みワークショップの実施 本プロジェクトの普及を図るため、ぽぽらにおいて4~6月までワークショップを開催したほか、関係機関への出前講座を実施した。延べ46名参加 ①2022年4月27日(水)13:30~15:00 1名参加 ②2022年5月21日(土)13:30~15:00 2名参加 ③2022年6月3日(金)13:30~15:30 真岡市13名参加 ④2022年6月29日(水)13:30~15:00 1名参加 ⑤2022年7月24日(日)10:00~12:00 小山市10名参加 ⑥2022年8月17日(水)10:00~12:00 真岡市19名参加	内容 

(4)NPO担い手育成業務

②ボランティア参加機会の推進

④とちぎ国体・とちぎ大会でのクリーナー配布

とちぎ国体・とちぎ大会の開会式当日、他県からの来県者へのおもてなしとして、いちごクリーナーを配布した。

ア とちぎ国体

日 時:2022年10月 1日(土)10:00~18:00

会 場:栃木県総合運動公園いちご一会広場

従事者:ぽ・ぽ・ら職員、県民文化課職員、ボランティア
計5名

配布数:約3,000個

イ とちぎ大会

日 時:2022年10月29日(土)7:30~17:00

会 場:栃木県総合運動公園いちご一会広場

従事者:ぽ・ぽ・ら職員、県民文化課職員、ボランティア
計7名

配布数:約3,000個

＜いちご一会広場
での配布＞



内容



成果・課題

- ・ボランティア活動への気軽な参加のきっかけづくりに寄与した。
- ・年齢性別に関係なく、一人でも手軽にできるボランティア活動だったため、コロナ禍においても、意欲的に継続できる取組となった。
- ・特に、編み物経験をもつ女性の活躍が目立った。
- ・ワークショップ参加者が、その後、地域や団体で講師役を務めるなど、活動の広がりにつながった。
- ・県内市町センターをはじめとする多くの団体のご協力により、プロジェクトが県内各地に広がり、寄附数が目標を大きく上回った。

(4)NPO担い手育成事業

②先進事例調査、研修参加

No.	月 日	事業名	主 催
1	4/7(木)	第2回NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
2	5/19(木)	いちごハートネット講演会	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
3	5/23(月)	人とつながり、まちを元気にするコミュニティナースとは	栃木県コミュニティ協会
4	6/2(木)	第3回NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
5	6/14(火)	令和4年度災害ボランティアネットワーク会議	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
6	6/29(水)	孤独・孤立対策関連施策に関する情報共有・意見交換会	特定非営利活動法人日本NPOセンター
7	8/20(土).21(日)	ボランティアコーディネーション1級検定直前研修	NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会
8	9/3(土)	ウェビナー「外国ルーツの家庭の子どもの未来のために」	とちぎコミュニティ基金 子どもSUNSUNプロジェクト
9	9/9(金)	ハラスメント対策オンラインセミナー	株式会社TMC経営支援センター
10	10/11(火) 11/8(火)	NPOの情報発信で画像とキャッチコピーに悩まない「アイキャッチのデザイン超入門」ゼミ	NPO法人 NPOサポートセンター
11	11/18(金) 11/19(日)	ボランティア全国フォーラム2022	全国社会福祉協議会
12	11/18(金) 12/9(金),23(金)	コミュニティカレッジ	栃木県コミュニティ協会
13	12/5(月)	ソーシャル・セクターのDXに必要なこと～誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて	日本財団
14	12/17(土),18(日)	日本ボランティアコーディネーター全国集会	日本ボランティアコーディネーター協会
15	1/31(火)	福祉ボランティアネットワーク化推進研修	栃木県社会福祉協議会
16	2/1(水),3/1(木)	閣僚会合開催地CSOの情報交換会	G7市民社会コアリッション2023
17	2/6(月)	とちぎ子ども自然体験活動フォーラム	とちぎ子ども自然体験活ネットワーク
18	2/19(日)	きょうだい支援理解啓発研修	きょうだい会SHAMS
19	2/25(土)	大きな木25周年シンポジウム	NPO法人大きな木

(5) 市町市民活動支援センター支援業務

(5)市町市民活動支援センター支援業務

目的	地域における中間支援の担い手である市町センターの連携向上により、県の中間支援機能の充実、強化、ネットワーキングを図る。	
内容	①市町センターとの連携 ・2022年5月13日(金)第1回市町センターネットワーク担当者会議開催、主に昨年度トピックスと今年度の課題を共有。(ZOOM) ②市町センター情報交換会 ア 第1回2022年7月15日(金)(ZOOM) 18名 中間支援センターの役割講座 ぽ・ぽ・ら職員 総務省デジタル活用支援事業紹介 ふらっと職員  イ 第2回2021年9月16日(金)(ZOOM) 17名 助成金申請事例紹介 ぽ・ぽ・ら職員 資格試験紹介(NPO事務力、コーディネーション力等) ぽ・ぽ・ら職員 高校生のボランティア体験事例 コラボレー職員 ウ 第3回2022年11月 インボイス制度について ぽ・ぽ・ら職員 組織基盤強化サポート研修 ふらっと職員	エ 第4回2022年 1月25日(金) JVCAコーディネーション研究会報告 まちぴあ職員 ぽ・ぽ・ら職員 オ 第5回2023年 3月17日(金) 遺贈寄付について Vネット職員 ③定期訪問・事業の共同開催 ア 定期訪問 県内の市民活動支援センター中を訪問し、地域課題の把握、取組などについて意見交換し、連携強化した。 イ ファンドレイジングセミナー&助成金合同説明会 日時:2022年 9月29日(木)10:00~16:45 共催:とちぎNPOボランティアセンター 宇都宮市まちづくりセンター サテライト:さくら市市民活動支援センター 真岡市市民活動推進センター 小山市市民活動推進センター かぬま市民活動広場 とちぎ市民活動推進センター 内容:ぽ・ぽ・ら市民活動大学校 「ファンドレイジング ~NPOの財源構成を考えてみよう」 宇都宮まちづくりセンター 「助成金合同説明会」

(5)市町市民活動支援センター支援業務

内容	④新設センター、未設置市町へのアウトリーチ支援 下野市市民活動センターが2022年5月にオープンし、新たに採用されたコーディネーターに対して、下記のとおり支援を行った。 日 時:2022年 8月 9日(火)14:00～15:30 場 所:ぽ・ぽ・ら2階 交流広場 参加者:下野市市民活動センター2名 :ぽ・ぽ・ら2名 内 容:事業の進め方等 ⑤県内外中間支援センターの先進事例調査(年1回) 期 日:2022年12月22日(木) 形 態:県有バスにて訪問 視察先:府中市市民活動センター プラッツ 参加者:12名 プラッツ館内の案内を受けた。総合受付窓口では、広く一般の団体からの受付を行っている。ミーティングに利用できるスペースは6か所で、作業スペースは4か所あり、すべて利用料金を徴収する。創業支援コーナーソーシャルビジネスラボを設けており、SB・CBの起業を支援している。センター長は参加者の質問に丁寧に答えてくださった。センターとしての今後の目標は市民の社会活動への参加を増加させることと、社会に影響を与えることのできる団体を育成することと話された。	内容	⑥シルバー大学校にて、「市民活動と繋がろう」講座を市町市民活動支援センターと共催(再掲) <table><tr><td>2022年4月12日(火):中央校</td><td>鹿沼市</td></tr><tr><td>2022年4月21日(木):南校</td><td>栃木市</td></tr><tr><td>2022年 5月 6日(金):中央校</td><td>宇都宮市</td></tr><tr><td>2022年 5月18日(水):北校</td><td>さくら市</td></tr><tr><td>2022年12月20日(金):北校</td><td>さくら市</td></tr><tr><td>2023年 2月17日(金):南校</td><td>栃木市</td></tr></table>	2022年4月12日(火):中央校	鹿沼市	2022年4月21日(木):南校	栃木市	2022年 5月 6日(金):中央校	宇都宮市	2022年 5月18日(水):北校	さくら市	2022年12月20日(金):北校	さくら市	2023年 2月17日(金):南校	栃木市
	2022年4月12日(火):中央校	鹿沼市													
2022年4月21日(木):南校	栃木市														
2022年 5月 6日(金):中央校	宇都宮市														
2022年 5月18日(水):北校	さくら市														
2022年12月20日(金):北校	さくら市														
2023年 2月17日(金):南校	栃木市														
成果・課題	前年度に引き続いて、市町市民活動支援センターのメンバーと顔の見える繋がり強化に努め、発展的な施策を企画できる下地ができてきた。 次年度以降、情報収集発信業務・相談対応業務・出前講座業務に加えて、地域協働デジタルブックなどの2023年度からの新規事業についても連携強化を意識して課題遂行し、さらなる発展を図っていく。														

(6) ネットワーク運営業務

(6) ネットワーク運営業務

目的	県内の多様な主体間のネットワークを構築・強化し、社会貢献活動への支援環境の充実を図るとともに、協働の取組を推進する。		
内容	①「市民活動支援ネットワーク会議」の運営 ・2022年5月13日(金) 第1回市町センターネットワーク 担当者会議開催、主に昨年度トピックスと今年度の課題を共有。(ZOOM) ②公民館、社会福祉協議会との連携模索 県内における中間支援環境の充実を図るため、センター未設置市町を中心に、公民館、社協との関係構築、中間支援事業に係る情報共有・事業連携を模索する。 栃木県社会福祉協議会 初任者研修にて出前講座を行った(再掲)。 ③他部局、県内大学、シルバー大学校等との連携 ・シルバー大学校にて、「市民活動と繋がろう」講座を市町市民活動支援センターと共催した。(再掲) 2022年 4月12日(火):中央校 鹿沼市 2022年 4月21日(木):南校 栃木市 2022年 5月6日(金):中央校 宇都宮市 2022年 5月18日(水):北校 さくら市 2022年12月20日(火):北校 さくら市 2023年 2月17日(金):南校 栃木市 2023年 3月15日(水):中央校 ぽ・ぽ・ら	内容	・シルバー大学校の社会貢献活動マッチング授業 参画 2022年 9月5日(月):北校 2022年 9月 6日(火):南校 2022年 9月13日(火):中央校 ④災害ボランティア活動に係る連携促進 栃木県災害ボランティア活動連絡会議 日時:令和5年2月17日(金)10:00~11:30 場所:栃木県庁 昭和館 多目的室4 内容:各団体の情報交換 宇都宮大学「地域防災部門」について カーシェアリング協会と栃木県の協定締結について ⑤関係機関の委員への就任等 適宜関係機関との事業への協力に努める。 別表参照
		成果・課題	・「市民活動と繋がろう講座」では市町市民活動センターを巻き込んだネットワークを強化できた。

(6) ネットワーク運営業務



シルバー大学校「市民活動と繋がろう」



(6) ネットワーク運営業務

① 関係機関の委員への就任、職員派遣等

No	月 日	内 容	主催者
1	2022年 4/9(土)	宇都宮市市民活動助成事業報告会	宇都宮市
2	5/29(日)	鹿沼市市民協働モデル事業審査会	鹿沼市
3	6/17(金)	たかはら子ども未来基金審査会	とちぎコミュニティ基金
4	8/22(月)	みんなでまちづくり会議	宇都宮市
5	9/1(木)	ふくしのチカラ大賞表彰委員会	栃木県
6	9/3(土)	こどもSUNSUNプロジェクト総会	とちぎコミュニティ基金
7	11/18(金)	みんなでまちづくり会議	宇都宮市
8	12/13(火)	花王ハートポケット倶楽部助成審査会	とちぎコミュニティ基金
9	12/14(水)	小山市市民活動センター運営調整会議委員委嘱	小山市

(6) ネットワーク運営業務

① 関係機関の委員への就任、職員派遣等

No	月 日	内 容	主催者
10	12/20(火)	みやシニア活動センターネットワーク会議	宇都宮市
11	2022年 2/2(木)	夢ファーレ1次審査	栃木市
12	2/13(月)	とちぎUIJターン促進協議会	栃木県
13	2/16(木)	地域で輝くふくしのチカラ大賞実践フォーラム	栃木県
14	2/21(土)	とちぎコープNPO法人助成金審査委員会	とちぎコープ生活協同組合
15	3/2(木)	栃木県経済同友会表彰選考委員会	栃木県経済同友会
16	3/5(日)	花王ハートポケット倶楽部地域助成贈呈式	とちぎコミュニティ基金
17	3/11(土)	夢ファーレ2次審査	栃木市
18	3 /11(土)	たかはら子ども未来基金(学生インターン部門)報告会	とちぎコミュニティ基金
19	3/13(月)	とちぎコープNPO法人助成金審査委員会	とちぎコープ生活協同組合

(7) その他

(7)その他

内容	① 各種会議・研修等への協力 ・ウクライナ支援情報交換会 日 時:2022年 4月 7日(木)16:00~17:00 会 場:オンライン 主 催:栃木県国際課 参加者:国際課、県民文化課、NPO、ぽ・ぽ・ら 内 容:ウクライナから本県への避難者が生じた場合に備えて、情報交換を行った。 ② とちぎコミュニティ基金(事業協力) がんばるNPOと支援者をつなぐため、「寄附の窓口」と「NPOによる情報公開の促進」の2つの機能を持ち、「民が民を支える仕組み」づくりを行う事業に実施協力する。 ・冠ファンド助成「花王ハートポケット倶楽部地域助成(栃木地区)」の実施 ・冠ファンド助成「たかはらこども未来基金」の実施 ア たかはら子ども未来基金 ①審査会:2022年 4月13日(水) 内 容:助成部門の審査、表彰事業の検討、学生インターン部門について ②審査会:2022年 6月17日(木) 内 容:学生インターン部門の受入団体の選考 ③贈呈式:2022年 8月20日(金) 内 容:学生インターン部門の助成金贈呈	イ 花王ハートポケット倶楽部審査会 ①審査会:2022年12月13日(火) 内 容:助成部門の審査、表彰事業の検討、学生インターン部門について ②報告会:2022年 3月 5日(日) ③ 寄付月間(アンバサダー) 寄付月間アンバサダーに就任し、全国のアンバサダー、パートナー等と寄付文化醸成のための広報を行った。 欲しい未来へ、寄付を贈ろう。  The logo for 'Giving December' features a large, stylized number '12' composed of various colored geometric shapes. To the right of the '12' is the word 'Giving' in a red sans-serif font, followed by 'December' in a larger, red script font. Below 'December' is the text '寄付月間' (Gift Giving Month) in a smaller red sans-serif font.
----	--	---